

校

医



第 351 号 平成19年10月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 長 村 吉 朗

京都市学校医会創立100周年記念式典・講演会・祝賀会開催さる

会 長 長 村 吉 朗



9月22日秋の彼岸の土曜日に、京都市学校医会創立100周年記念式典・講演会・祝賀会が開催されました。午後2時半開式より8時半までの6時間にも及ぶ式典・講演会・祝賀会に伊吹文部科学大臣、池坊文部科学副大臣をはじめとして、遠方は仙台からも来賓にお越しいただき、同時に会員の多くの方が参加していただきましたが、何分三連休の初日という迷惑な日程を設定しましたため参加できなかった方々のためにその様子を報告いたします。

まずは、酒井晃100周年記念事業委員長の開会の挨拶に続き、当日の私の挨拶より。「京都市学校医会は明治32年1月に下京学校医会、5月には上京学校医会が組織され、その当時下京と上京の二つの区しか無かった京都市において実際上の京都市学校医会が産声を上げてから既に108年が経過しておりま

す。それを記念して本日の記念式典を行うことが出来たことを、私ども企画をしましたもの一同、心より喜んでおります。さて、挨拶をしなければならないということでいろいろ考えました。月並みな文句ではありますが、これまでの100年の上に次の100年となる第一歩を記念してや、先人の苦労を忍び等と言わなければならないと考えましたが、この100周年を記念した記念誌を作成するなかで、本日お見えの奥沢先生や八木先生のおかげで探し出し、掘り起こしそしてまとめることの出来た100

年以上前からの京都の学校医の歴史を読み、学校医会の創設者たちの並々ならぬ学校保健に対する熱意とその指導力を知り、また記念誌のために行いました座談会でも、ほんの50年ほど前においても学校で



開会の挨拶をする酒井晃100周年記念事業委員長

● 祝 辞



伊吹文部科学大臣



池坊文部科学副大臣



小石原副知事



門川教育長



内田日本医師会常任理事

子どもたちと一緒に泊まり込んで寄生虫の駆除を行っていた話を聞き、これまでの100年が先人たちの苦勞をしのびなどと言う月並みな言葉では言い表せない程の、どれだけの方々の熱意と努力の上に成り立っているのかを知ることが出来ました。そしてこれら多くの方々の努力の後に、今の京都市学校医会があるのであると言うことを強く感じました。そして思いましたことは、これからの学校医は決められたことだけをただ単にこなしているだけでは次の100年を迎えることは出来ないという事です。太平洋戦争後GHQの統治下で学校医の必要性が否定されようとしたときも、学校医は必要であるとその存在を守ったのは、それまで子供たちの健康の保持増進に並々ならぬ努力と時間と熱意をつぎ込んでこられた多くの学校医の実績があったればこそでしょう。法律に規定されているから学校医をおこななければならないと言うだけの存在であるなら、次の100年を迎えることは出来ないでしょう。法律に定められている仕事だけをこなして、満足しているだけの学校医ではこれまでの先人の後継者としては、あまりにふがい

ないと言わなければなりません。学校医をおく規定が無くなったとしても、どうしても学校医という存在が必要であると言われてこそ、次の100年を迎えることが出来ると言うことを強く思うようになりました。記念の日の挨拶としてふさわしくないかもしれませんが、今後の100年の第一歩としての京都市学校医会の決意として述べさせていただきます。」

以上が挨拶の一部ですが、3年以上も前より準備を進める中で100年というものの持つ重みを感じ、今のままの学校医会では200周年を迎えることは出来ないのではないかと思うに至ったものです。では何をすればよいのか、偉そうなことを言っておきながら具体的にはまだ分かりません。心の問題への今以上の取り組みなのでしょう。なすべき事にお気づきの方がおられましたらお教えください。

さらに池坊文部科学副大臣のご祝辞に続き京都府知事（名代小石原副知事）、京都市長（名代門川教育長）、日本医師会長（名代内田常任理事）、森京都府医師会長の祝辞をいただいた後、会員の中より功勞者・特別功勞者の表彰を行い、平位副会長の閉会





森京都府医師会長



平塚京都府歯科医師会長



藤村京都市学校薬剤師会長



100周年記念像を制作された谷口淳一先生に感謝状を贈呈

の辞により式典は無事予定より30分も早く終了いたしました。

記念講演会は京都市少年合唱団による3曲の歌により始まり、元チェコ大使宮本信生氏による「政治と歴史で巡る世界の旅」さらに女優神崎愛様による「フルーツと歌で巡る世界の旅」を楽しみました。



祝賀会では奥村副会長による挨拶と学校医会の歴史紹介の後、伊吹文部科学大臣の挨拶さらに門川教育長、平塚京都府歯科医師会長、藤村京都市学校薬剤師会長の挨拶に続き、100周年記念像を制作されました谷口淳一先生に感謝状を贈呈した後、福田

● 記念講演会 ●



講演をいただいた
元チェコ大使 宮本信生氏



フルーツを演奏していただいた
女優 神崎 愛様

100周年記念事業副委員長の発声により乾杯となりました。ここまでくると後は飲むだけで、あっという間に酒井晃元会長による閉会の挨拶となり、長かったような、あっという間のような6時間が過ぎてしまいました。

この様な会を今回開催することが出来たのも、元及び現会員並びに関係者の皆様のおかげであり心より感謝申し上げます。



第5回 常任理事会

平成19年10月6日
於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、
井上・藤田・竹内・蘆原・福持各常任理事、
星谷耳鼻咽喉科理事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 創立100周年事業委員会 9/7
2. 記念像「未来みつめて」除幕式 9/7
先月号参照
3. 腎臓相談 9/11 3名の相談
4. 精神衛生研究会 9/13 8名の参加
5. 色覚相談 9/18 9/25
6. 創立100周年記念事業委員会 9/20
7. 京都市学校医会創立100周年記念式典 9/22
8. 京都市学校保健会 常務委員会 9/25
内科からの表彰 平位先生、広田先生に決定
10/30 表彰式
12/1 研究発表会
2/26 学校保健協議会
9. ワンポイント相談 9/27 1名(LD)の相談

<協議事項>

1. 1月理事会について 1/12
2. 総会講演者について 4/19 講演者人選中
3. 第38回全国学校保健・学校医大会について
11/10 長村、奥村、平位、林の参加
学校保健研究大会で、上原先生、京都市学校医
会に表彰
4. 第59回指定都市学校保健協議大会について
5/18 広島市
5. 保健管理ソフト活用委員選出について
藤田を選出 「健康調査票の改訂」を中心に
6. 人づくり21世紀委員会連続講座第1回「広がる
HIV感染～性感染症蔓延の中で～」について

京都アスニー 林出席 「HIV感染予防教育」
の発表

7. 京都市自治記念日記念式典 10/15 について
京都市学校医会に表彰
8. 第59回教育功労者表彰式典 10/30 について
京都市学校医会に表彰
9. 第22回京都市小学校「大文字駅伝」大会支部予
選会における医務担当者の派遣について
10. その他
2008年から始まる中1・高3のMR接種の接種
率の向上について

<関連学会・各種協議>

1. 陸上競技記録会 10/8 長村・奥村の出務
2. 腎臓相談 10/9
3. 精神衛生研究会 10/11
4. HIV感染についての講習会 10/13
5. 京都市自治記念日記念式典 10/15
6. 色覚相談 10/16 10/30
7. ワンポイント相談 10/25
8. 第59回教育功労者表彰式典 10/30
9. 京都市学校保健表彰式・研修会 10/30
10. 第6回常任理事会 11/2 1:30pm～

